

5号機緊急時対策所および 関連設備について

2017年2月9日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

TEPCO

発電所で想定する地震動に幅広く対応できるように、免震構造とは異なる剛構造の緊急時対策所とし、耐震設計、建物構造に多様性を持たせるとともに位置的にも分散設置する。

設置場所：5号機原子炉建屋 3階計算機室

床面積：約140m²

収容人数：約90名（6号機および7号機の2プラント運転時における緊急時対策所本部要員および現場要員）

設置設備：プラント安全パラメータ表示システム

可搬型モニタリングポスト

衛星電話・無線連絡設備

統合原子力防災ネットワークを用いた通信連絡設備

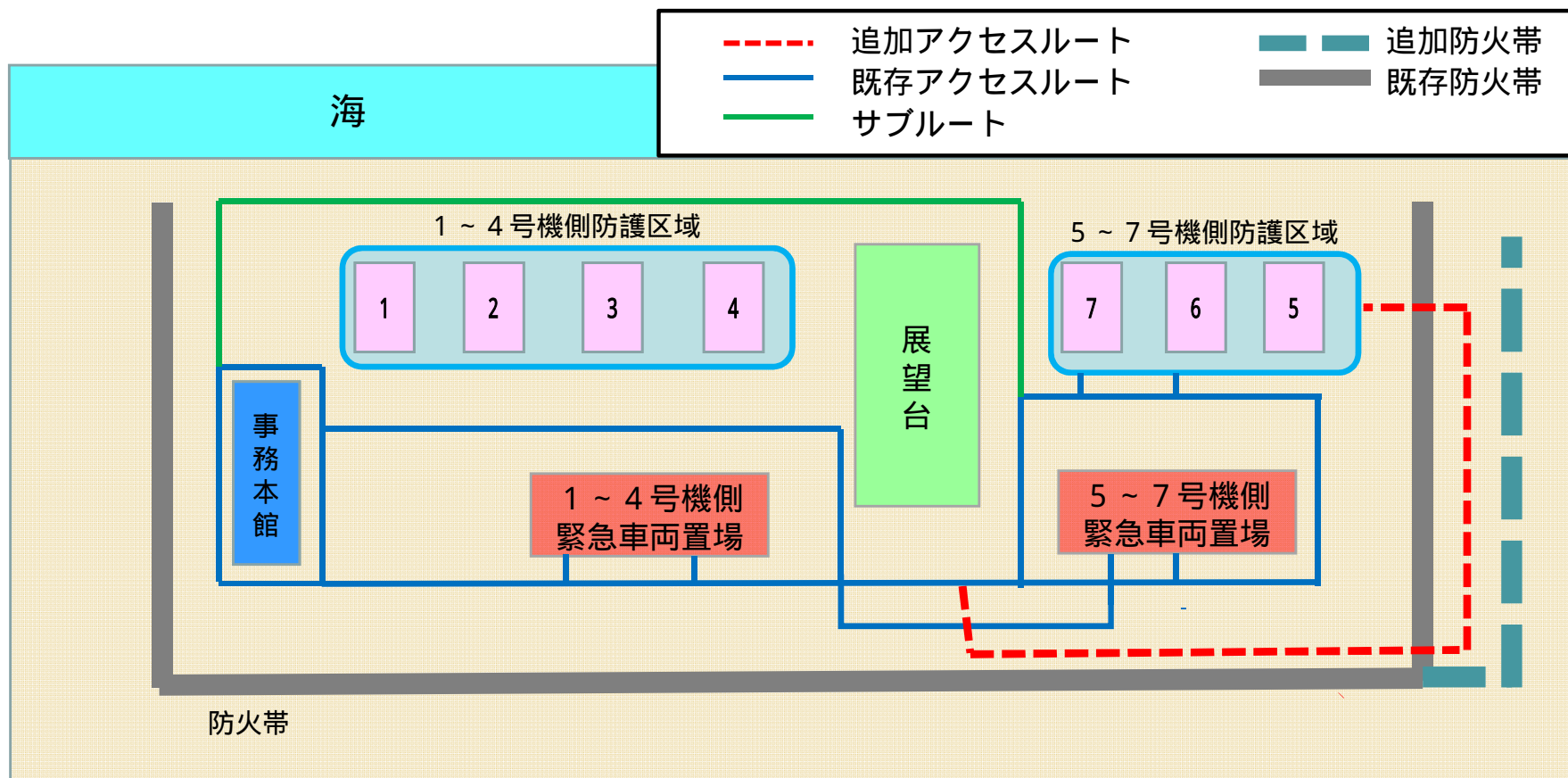
データ伝送設備

居住性設計：7日間で100mSv以下

設備故障等の不測事態への対応、給油作業等の現場要員の待機場所を設置する。

重大事故が発生した際に、対策要員および緊急車両が現場に出向できるよう、地震、津波その他の自然現象を想定し、迂回路も考慮してアクセスルートの多重化を進めている。

5号機緊急時対策所へのアクセスルートは現在2方向からアクセスできるが、徒歩による別経路での移動も可能となるよう追加アクセスルートを整備
追加アクセスルートを森林火災から防護するため、追加防火帯を整備



主なアクセスルート・防火帯のイメージ図